

平成 28 年度第 2 回最上地域保健医療協議会（地域医療構想調整会議）
議事概要

日 時：平成 29 年 2 月 27 日（月）18:30～19:30

場 所：最上総合支庁 講堂

1 開会

2 あいさつ（三條会長）

3 議事

（1）第 6 次山形県保健医療計画の進捗管理について

（2）在宅医療専門部会における検討状況について

事務局から資料 4 により説明。

○主な意見・質疑等

- ・資料 4 - 2 「①在宅医療・介護による情報共有及び相談支援」について、相談支援の拠点の地区医師会への委託は、人員・スペース等の関係から具体的な検討は進んでいない。

4 報 告

（1）県立新庄病院改築整備基本構想の策定等について

関係委員から資料 5 により説明。

（2）管内町立病院改革プランの検討状況について

○町立最上病院（資料 5）

- ・現在、新病院改革プランを策定中であるが、70 床ある病床の医療収支率が低いこと、人員不足などが課題。病床稼働率は 92.4%だが、急性期の病床に慢性期の患者が多くいる。
- ・70 床の病床を今年中に 60 床まで減らし、病棟を一本化して一般病棟とすることで必要な看護師数を確保するとともに、看護体制を 15：1 から 13：1 にしたい。また、介護老人保健施設を在宅復帰強化型とし、長期入院している慢性期患者に移っていただき、急性期病床の回転を良くすることを考えている。
- ・「最上病院は慢性期の病床で」という考えもあるが、今入院している患者のうち約 20 名は急性期で、新庄病院にも入院できないケースもあるため、全面的に慢性期病床とするのは厳しい。地域包括ケア病棟に踏み切るには様々な準備が必要なため、次の目標として、病院としてはダウンサイジング（病床縮小）してやっていきたい。

○町立真室川病院（資料 6）

- ・これまで、改革プランの検討委員会を 3 回開催しており、今後は在宅へ力を入れる必要があると考えている。

- ・電子カルテは2年後くらいには導入する予定で進めている。そうしないと、「もがみネット」が使いにくいいため、導入に向け頑張っていく。

(3) 病床機能の分化・連携に対する支援について

事務局から資料7により説明。

- 主な意見・質疑等
特になし

5 その他

事務局から資料8により今後のスケジュールについて説明。

6 閉 会